

松本市上下水道局指定給水装置工事事業者
松本市下水道排水設備指定工事店
令和7年度 事務連絡会

資料4

連絡事項
(上下水道局 下水道課)

下水道課からの連絡事項

※令和7年度注意事項

(1)設計基準の改定について（令和7年6月1日適用）

主な変更点

- ① 公共樹設置場所 官民界 1.0m 以内 → 官民界 0.8m以内（第2章4(1)ウ）
- ② 公共樹の設置深さ 最小深さ 0.8m → 最小深さ 1.0m（第2章4(2)ア）
- ③ 宅内管土被り 松本市排水設備設計施工基準に準ずる 0.3m（第2章4(2)ア）

(2)申請について

- ① 書類の記入漏れ、ミス、必要な書類が添付されていないことが多々見受けられます。社内で必ずチェックを行ってから提出をしてください。
- ② 下水道施設設置同意書は引き続き押印が必要となります。コピーは認めません。
- ③ 申請前には必ず現場調査を行い、現場状況に合った申請を行って下さい。
- ④ 申請書や同意書は原本を提出してください。コピーは認めません。

(3)現場・検査について

- ① 竣工図面は、申請図面に赤書きで出来形の数値を記入して提出をお願いします。
- ② マンホールのインバートの写真を添付してください。
- ③ 支管取付時に番線締めの写真（取付状況が見やすいもの）を必ず添付してください。
- ④ 申請通りに施工を行ってください。変更が発生する場合には事前に下水道課と協議をしてください。
- ⑤ 工事完了後は必要書類を速やかに提出してください。検査合格及び負担金等の事務処理の完了をもって、供用開始となりますので申請者に迷惑が及ばないようにしてください。

1 下水道施設の新設や変更に関する留意事項

(1)新設について

- ア 土地の区画形質の変更に伴い下水道施設（本管、公共汚水樹）の新設が必要な場合は、「污水放流許可申請」が必要となります。
- イ 申請する際は事前に当課及び関係機関との打合せをお願いします。許可には申請書類が揃って受付した日から2週間程度を要します。道路掘削許可についても同様です。
- ウ 手続きを施工業者が代行する場合は、許可書を必ず申請者に届けてください。また、許可書に附された条件を申請者に説明してください。問題が発生した場合には、申請者へ連絡することがあります。
- エ 申請書に添付する公図及び土地の全部事項証明書(写し)は提出日から3か月以内の書類としてください。
- オ 私有地に下水道本管を設置する場合は、地役権の設定・登記が必要となります。

(2)変更(軽微なもの)について

- ア 下水道施設の移設・撤去・取替・補修工事は、工事着手前に「下水道施設（移設・撤去・取替・補修）届」を提出してください。
- イ 工事着手前に既存利用施設が使用可能であることを確認して施工してください。
- ウ 工事完了後は、完了届を速やかに提出してください。完了届の受理をもって供用開始となりますので、申請者等に迷惑が及ばないようにしてください。
- エ 土地利用の変更に伴い不要となる下水道施設は、撤去をしてください。
- オ 現況写真を添付してください。

2 下水道施設の設計・施工について

- (1) 松本市公共下水道設計基準（令和7年6月1日適用）に基づき設計・施工してください。
- (2) 管布設は汚水の溜りが生じないように作業段階ごとに点検鏡で確認してください。
- (3) 工事写真の撮り忘れがないよう十分に注意してください。

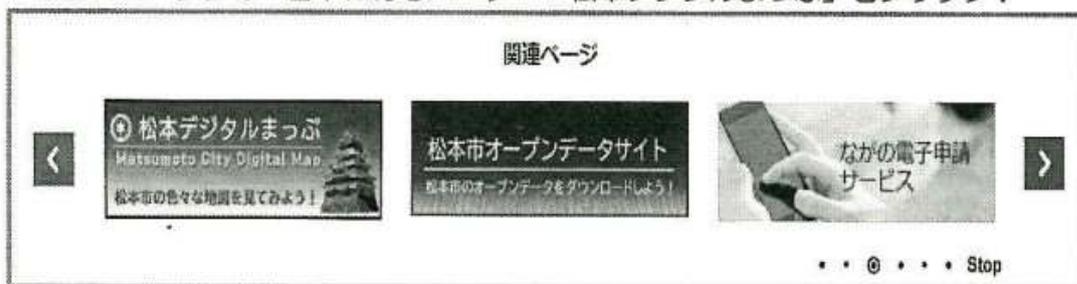
3 自営工事の検査について

- (1) 検査依頼書の提出時には管内の洗浄及び現場への墨入れを済ませておいてください。
- (2) 工事写真の不足で施工内容が確認できない場合は、申請者の負担で掘削確認を行います。
- (3) 本管の施工がある場合は、必ず現場責任者が検査に立ち会ってください。

4 その他

- (1) 下水道課からのお願い
 - ア 施設変更の完了届が未提出の工事が多数ありますので各社確認のうえ至急提出してください。
 - イ 道路の本復旧については各社で確認し未施工がある場合は至急本復旧を行ってください。
 - ウ 掘削申請について上水道給水管と併設する場合は、掘削延長が長い方で申請してください。
- (2) ホームページ掲載資料
 - ア 自営工事様式については下記に掲載しています。
<https://www.city.matsumoto.nagano.jp/site/jougesuidou/1454.html>
 - イ 上下水道台帳は「松本デジタルまっぷ」から閲覧できます。（最新の台帳は窓口でお問い合わせください。）
<https://www2.wagmap.jp/matsumoto/Portal>

TOPページの一番下にあるバナー「松本デジタルまっぷ」をクリック！



スマートフォンサイトはこちら



二次元コードをお読みください。
（一部未対応の機種があります）

汚水枮調査票

汚水枮 No.	1	権利者名	〇〇 〇〇
汚水枮深さ	1.00 m	調査年月日	
枮種別	横型	保護蓋	有
工事名			
委託者			
調査者			

検 測 内 容	設置位置	人孔No.	1	+	50.0	m	
	取付管線路延長	1	=	5.0	m	(~官民界 4.2 m)	
	最上流入口地盤高 (宅内最上流の地盤高)	GL.1	=	641.26	m		
	汚水枮位置地盤高 (汚水枮の地盤高)	GL.2	=	641.46	m		
	宅内管布設延長	L	=	50.0	m		
汚 水 枮 H の 決 定	式①(宅内勾配20%)						
	地盤差	+	(管布設延長 * 0.02)	+	最低土被り	+	流入管径 = 設計汚水枮深さ
	(GL.2 - GL.1)	+	(L * 0.02)	+	0.30	+	0.10
	(<u>641.46</u> - <u>641.26</u>)	+	(50.0 * 0.02)	+	0.30	+	0.10 = <u>1.70</u>
	(<u>0.20</u>)						
	式②(宅内勾配10%)						
	(GL.2 - GL.1)	+	(L * 管路勾配)	+	0.30	+	0.10
	(<u>641.46</u> - <u>641.26</u>)	+	(50.0 * 0.01)	+	0.30	+	0.10 = <u>1.10</u>

変更点

特 記 事 項 ・ 平 面 図	<div style="border: 1px solid black; width: 80%; margin: auto; padding: 10px;"> <p style="font-size: 1.2em;">宅内排水管路を記入した敷地配置図を貼付</p> </div>
--------------------------------------	---

※ 式①で設計汚水枮深さが1.5mを超える場合には式②を用いること。
 ※ 式②を用いても設計汚水枮深さが1.5mを超える場合には下水道課と協議すること。
 ※ 計算式は変更しないこと。

No. _____

取付管工



着工前

☆ 着工前・竣工 写真は、対比出来るように同じ方向から撮影したものを写真帳の**最初のページ**にまとめてください。

取付管工



竣工

☆ 検測数値が写真で読めるように撮影してください。（検測位置は「官民界の官地側」の他に「本管直上」と「公共ます」の位置でも撮影してください。）

取付管工



既設塩ビ管

H=2,080

☆ 諸規定の深さ以上の施工を行う場合は、**土留め等による安全対策**を必ず行ってください。



No. _____

取付管工

床付出来形検測

H=1,560

床付幅出来形検測

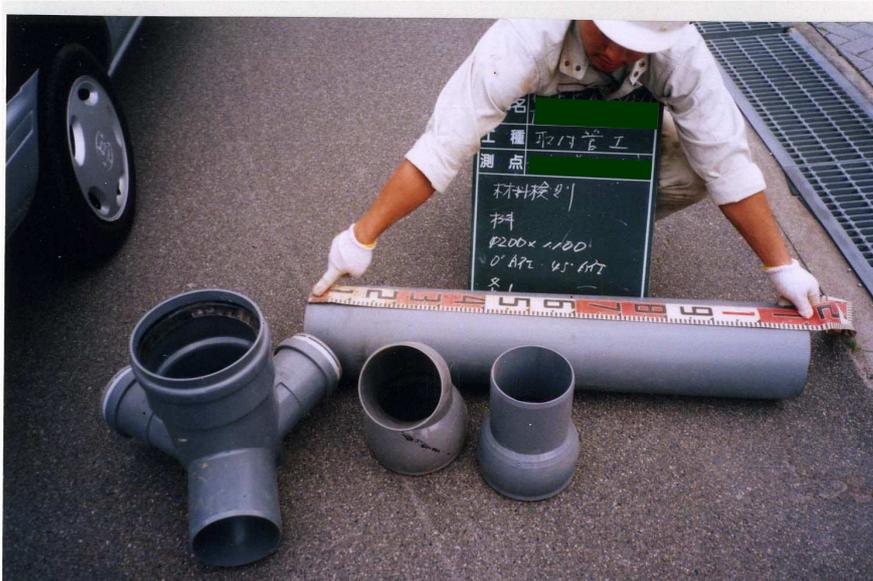
W=850

☆ 残高検測により、転圧厚みを確認出来るように撮影をしてください。



No. _____ 取付管工

砂基礎敷均状況



No. _____ 取付管工

材料検測

樹・0度自在・45度自在

Φ200×1,100

☆ 削孔完了時には、発生した廃材(切り抜き片)と一緒に撮影してください。
また、削孔面の清掃・支管の**接着剤の塗布状況**も撮影してください。

本管削孔状況

支管接着剤塗布状況



☆ **支管圧着状況(番線・シノ締め)**が確認出来るようにしてください。
(接合状況が写真で確認できない「メカロック支管」は使用しない。)

支管取付

番線締付完了



☆ 残高検測時には取付管φ150の扱い外径を170mmとしてください。

No.

取付管工

取付管布設出来形

L= 2,040



☆ 掘削側面及び他埋設管と離隔を30cm以上確保してください。

☆ 管上・管側部の砂基礎の転圧は、管を痛めないように、
 タコや剣スコップによる突固め転圧を行ってください。



砂基礎埋戻し人力転圧状況

☆ 残高検測により、転圧厚みを確認出来るように撮影をしてください。



No.

取付管工

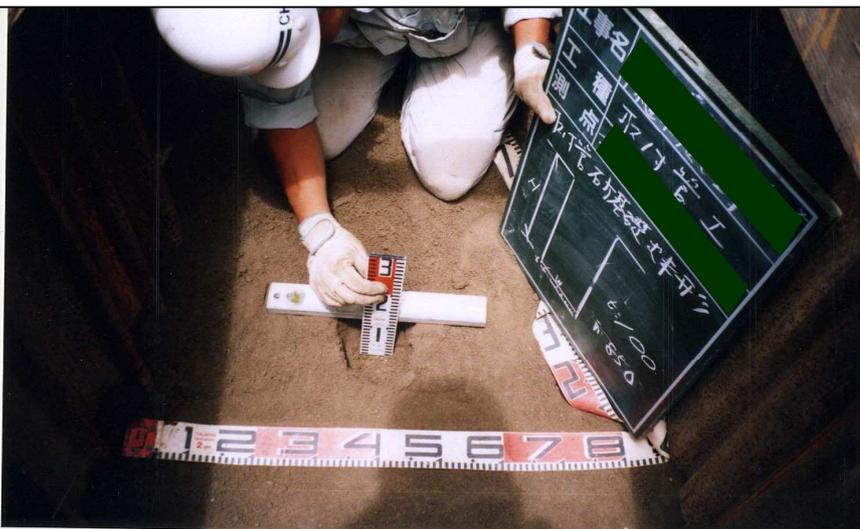
北條様共同住宅

砂基礎出来形検測

H=1,460

W= 850

☆ 下の写真のように、掘り抜きによる検測は、好ましくありません。
 (転圧した箇所を荒らすこととなりますので、再転圧が必要です。)



北條様共同住宅

砂基礎厚出来形検測

t=100

No. 取付管工



砕石埋戻転圧状況

3層目

☆ 埋戻し写真は、**20cm毎**のすべての各層について
敷均し状況・転圧状況・検測のパターンで撮影してください。

No. 取付管工



砕石埋戻出来形検測

H= 400

t=200 3層目

☆ 瀝青剤散布は、散布機を必ず使用し、ムラ無く均一に散布してください。
(じょうろ・ほうき・タイヤブラシは厳禁)

舗装復旧工



乳剤散布状況

☆ 交通整理員を配置した場合は、状況写真を撮影してください。
☆ 安全管理状況の解る写真を撮影・添付してください。



区画No.1

防護蓋離隔検測

H=150



区画No.1

防護蓋離隔検測

H=150



区画No.1

防護蓋離隔検測

H=150

☆ 防護蓋は**凹型**を使用し、
内蓋と防護蓋との**離隔15cm**の検測写真を撮影・添付してください。